

2008年G8サミットNGOフォーラム 第2期(2007年9月18日~2008年9月)

参加団体

記入日: 2007年12月15日

* 団体名: (日本語)

ちば生物多様性県民会議

(英語) The Chiba inhabitants of the prefecture's conference for biodiversity

* 住所: 〒260-8667 千葉市中央区市場町1-1 千葉県環境生活部自然保護課内

* Tel: 043-223-2956 (緊急時 090-9970-1749) Fax: 043-225-1630

* 連絡用 E-mail: ku-born@mti.biglobe.ne.jp

* ウェブサイト: http://www.pref.chiba.jp/syozoku/e_shizen/tayosei/mein/gaiyo.html(千葉県のHP内)

参加ユニット:

貧困・開発ユニット	
環境ユニット	
人権・平和ユニット	

参加の形態:

運営NGO	
サポートNGO	

団体の設立年月日
2007年5月9日
団体設立の経緯と目的
2006年10月に千葉県から環境政策の見直し・策定にあたって広く県民の意見を聴きたいとの要請があり、環境活動を行っている県内各地の市民団体・個人が20箇所ですべて「環境づくりタウンミーティング」を開催した。今年5月にこのタウンミーティングに参加した団体・個人が中心になって「生物多様性ちば県戦略」の策定に提言書を提出するための「ちば生物多様性県民会議」を設立した。
代表者名
手塚 幸夫
団体の主な活動内容
「ちば生物多様性県民会議」の活動は、千葉県というローカルな自治体運営へ県民が主体的に参加していくことであり、次の3つに集約される。 生物多様性という言葉とその概念、更にその保全・再生・持続的な活用の重要性を、広く県民に伝えていくための広告塔となること。 「生物多様性ちば県戦略」が策定される過程で県民として主体的に関わっていくこと。県民会議は、現場の課題を中心に実行委員会としては、専門家会議の答申、すなわち骨組みに「この問題については、県内各地の戦略グループ会議での報告を基に千葉県に提言を書を行っていく。を基礎と この戦略を絵に描いた餅にしないために、実行および評価段階に直接関わっていくこと。
NGOフォーラムで団体の実現したい活動
気候変動(温暖化)と生物多様性の劣化は、密接につながっており、いずれの問題もそれら解決のためのグローバルな取り組みに対応するローカルな取り組みが重要である。地域や一人ひとりの意識の変化や行動が大切であり、生物多様性戦略で言えば、国家戦略に対応する千葉県の地域戦略とそれらの相互性、さらにはローカルをつなぐ人々や情報等のネットワーク・交流が必要との認識から「ちば生物多様性県民会議」は活動を続けており、NGOフォーラムが千葉県の生物多様性のローカル戦略を内外に表明し、ネットワーク・交流をさらに深めていききっかけにしたいと考えている。